

2016年4月7日

日本板硝子株式会社

真空ガラス「スペーシア[®]クール」が福岡市庁舎に採用されました

当社が製造・販売しております真空ガラス「スペーシアクール」が、福岡市庁舎の窓ガラス改修工事に採用されました。今回の改修工事では、2015年5月～6月にかけて、同市庁舎西面（2～14階）の既存窓ガラス670枚が「スペーシアクール」へ取り替えられました。「スペーシアクール」は、優れた断熱性能を有する真空ガラス「スペーシア[®]」に日射遮蔽性能を付加した製品です。年間を通じて省エネ対策に優れた製品で、住宅のみならず、非居住建築物の暑さ対策・省エネ対策として数多くの案件でご採用いただいています。

同市庁舎は、窓ガラス寸法も大きく、特に西面は西日が直接差し込むため、夏場の暑さ対策（冷房費用削減）が問題となっていました。改善策として遮熱フィルムによる対策も検討されましたが、「スペーシアクール」の高い日射遮蔽性能や、施工が簡単で工期が短いこと、将来的なメンテナンス費用も抑えられることから、当製品が採用されるに至りました。

改修工事後の夏期に実施された温熱環境の測定結果では、既存窓ガラスと比較してガラス表面温度は5度、体感温度は6.4度下がったとの結果が得られています。また、今年1月に九州を襲った大寒波（1月25日：当日の福岡市内の天候は大雪で、最低気温は-4℃）の日には、その高い断熱性能により、改修工事を実施した西面の窓は結露の発生を抑え、庁舎をご利用の皆様にご快適な環境を実感いただけました。

今後同市では地球温暖化対策として、住宅の窓ガラスを断熱仕様に改修した際の「省エネ住宅改修助成制度」の創設も検討されています。

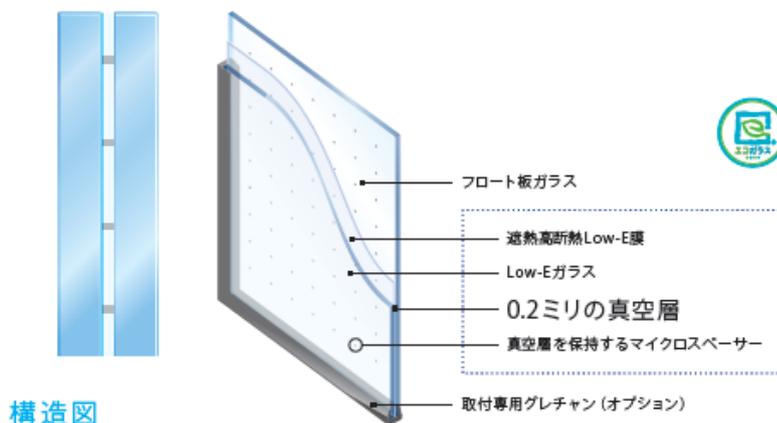
当社は、市場ニーズに合致したValue Added製品（VA品）を、今後も積極的に展開し、「VAガラスカンパニー」となることを目指します。



福岡市役所 外観写真

（写真提供：福岡市）

【スペーシアクール構造図】



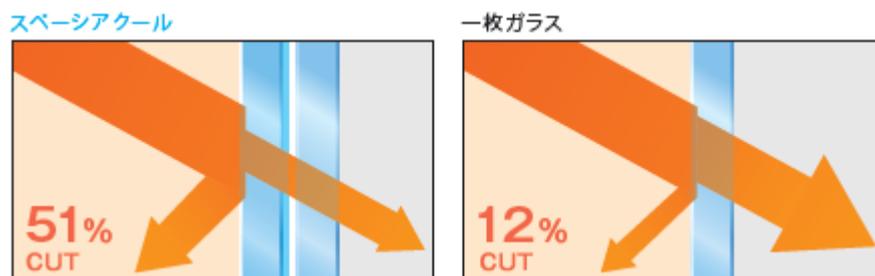
構造図

【性能比較表】

	呼び厚さ (ミリ)	ガラス構成(ミリ)			可視光 透過率 (%)	紫外線 カット率 (%)	熱貫流率 (W/m ² ・K)	日射熱 カット率 (%)
		←室外側ガラス		室内側ガラス→				
スペーシア クール	6.2	Low-Eガラス3	真空層0.2	フロート板ガラス3	70.0	61.1	1.0	51
スペーシア(参考)	6.2	Low-Eガラス3	真空層0.2	フロート板ガラス3	75.5	55.2	1.4	34
複層ガラス(参考)	18	フロート板ガラス3	空気層12	フロート板ガラス3	81.8	42.4	2.9	21
一枚ガラス(参考)	3	フロート板ガラス3			90.1	27.5	6.0	12

- ・可視光透過率：可視光透過率が高いほど、採光性能が高くなります。
- ・熱貫流率：室内外の温度差によって、ガラスを通過する熱量です。熱貫流率が小さいほど断熱性能に優れています。
- ・紫外線カット率：ガラスを通して室内に入る紫外線をカットする割合です。
- ・日射熱カット率：ガラスに入射した日射熱をカットする割合です。日射熱カット率が大きいほど日射を遮蔽します。

【日射遮蔽性能比較】 日射熱を約51%カット



【お問い合わせ先】

報道関係：日本板硝子株式会社 広報・IR部 TEL：03-5443-9477

お客さま：日本板硝子お客様ダイヤル TEL：0120-498-023

日本板硝子株式会社 広報・IR部
〒108-6321 東京都港区三田 3-5-27
電話：03-5443-9477 FAX：03-5443-9543